

若い熱気リハビリの励みに

高齢者でジム
サービス

広島市安芸区矢野東のボクシングジムで4月から介護保険事業のデイサービスが行われる。ジムの若者と高齢者がふれあうことで互いに励まし、やりがいやリハビリ効果を高めようという試み。ジムの経営するNPO法人グロービー(丸亀恭敬理事長)と、府中町で介護サービス付き高齢者住宅などを経営するスマイル(久丸智寛社長)が共同企画した。

(田中伸武)

安芸区で来月から 交流イベントも

リハビリは鉄骨2階建て延べ280平方メートルのジムの1階を使い、平日と祝日の日中、高齢者住宅の入居者や募

集した高齢者が通う。定員14人で、スマイルの理学療法士らが指導する。歩行器やリハビリ専用マシンを備え、

サンドバッグなどボクシング用トレーニング機器は共用。元団体選手で社会福祉主事の資格を持つ丸亀理事長(49)が協力する。

ジム生は園児から大人まで約80人。夜間や休日に通うため、リハビリの高齢者と一緒にするのは祝日。計画では、主に中高生のボランティアを募り、トレーニングの合間に高齢者の歩行訓練を介助したり反復運動に付き添

っている。スマイルは「ひきこもりや問題行動の克服のためジムに通う中高生は多い。お年寄りとのちょっとした会話でも人生を学び社会へ目を開く場になる」。久丸社長は「高齢者は元気をもらっただけでなく本格スポーツの一端を体験してリハビリ効果が高まる」と期待している。



リハビリ機器を備えたボクシングジムの一角で打ち合わせする丸亀理事長(左)と久丸社長